

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 16 回「福島第一原子力発電所廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会 幹事会
会議種別	本会議 <u>幹事会</u> メール審議 その他()
開催日時	2023 年 3 月 29 日(水) 10:00 ~ 12:00
開催場所	Web 会議(Zoom)
参加人数	6 名 勝村主査、唐澤幹事、和田幹事、宮原幹事、三輪幹事、高木幹事
議 事	- 次年度 WG の担当(○は主幹事)(敬称略) - WG1(FP の量・物質収支と化学形態):和田(○)、三輪、宮原、高木 - WG2(サンプリングの目的とデータ活用):宮原(○)、三輪、高木 - WG3(環境への移行経路):唐澤(○)、和田 - 次年度幹事の役割分担(敬称略) - 委員会準備と報告:担当幹事を持ち回りとする。 - 企画セッションの計画、解説記事のまとめ:和田 - 委員会活動報告、1F 廃炉検討委報告:高木 - 学会との連絡、委員への通知:宮原 - 委員所属変更／新規／退会の調査のまとめ:三輪 - 技術報告書の作成:各幹事 - WG の進め方 - 年 3 回の全体委員会を軸として、各 WG は年 6 回程度開催する。 - 大学への協力を依頼する、委員会での講演を中心とする、各委員は必ずどれかの WG に参加する、などを推進する。 - 各 WG は活動方針、活動計画を至急立案し、その上で、各委員に対し参加に向けたアンケートを実施する。 - 技術報告書のまとめ方 4 年間の活動の振り返り点であり、目次を意識して活動を継続する。 - 目次は、大きく 2 部構成とする。 Part I : 拡大幹事会の調査結果のまとめ Part II : WG の検討結果のまとめ - 今後の予定 - 全体委員会:6/7 または 14 の午後とする。 - 各 WG:5 月中に第 1 回を開催する。 - 幹事会:月 1 回を目安とし、次回はアンケート結果を踏まえ、4/25 とする。 - アンケートは 4/10 に発出し、4/19 を回答期限とする。
備 考	次回幹事会:4/25(火)10:00~12:00 議題: アンケート結果の集計、WG の立ち上げ、専門委員会準備

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 15 回「福島第一原子力発電所廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会幹事会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他()
開催日時	2023 年 2 月 28 日(火) 13:30 ~ 15:00
開催場所	Web 会議(zoom)
参加人数	6 名: 勝村主査、唐澤幹事、高木幹事、宮原幹事、三輪幹事、和田幹事
議 事	企画セッションでの発表内容について、2/24 開催の委員会のコメントをどのように反映するかを議論し、以下を決めた。下記には幹事会後のメールのやり取りによる修正も含む。 1. 企画セッション発表内容について (1) 概要(勝村主査);挨拶の後、発表タイトルの概要を示す。 (2) 目的と活動方針(和田幹事);拡大幹事会で抽出された技術課題を示し、詳細な説明はしない。 (3) 実機調査(高木幹事);調査結果と得られた課題と期待される成果を分かりやすく説明する。 (4) JAEA/CLADS 関連調査(宮原幹事);調査結果と見えてくる課題と期待される成果を分かりやすく説明する。 (5) 実機解析調査(三輪幹事);BSAF や熱水力ロードマップなどで得られた重要な FP 挙動と、抽出課題とその対応策・成果を分かりやすく説明する。 (6) 事故分析調査(唐澤幹事);調査結果と抽出課題、期待される成果・成果物を分かりやすく説明する。 (7) 抽出された技術課題(和田幹事);議論の前に、課題の整理、課題解決案、期待される成果を説明する。また、課題の関連を図で説明する。 2. 委員会コメントの対応 (1) まとめ方;WG 毎の成果としてまとめるのではなく、委員会としての成果とするため、2つの委員会目的を達成する成果となるようにまとめる。 (2) 成果の適用先;「サンプリングの目的とデータ活用」WG で、データの適用性やデータの代表性を検討する。 (3) 成果の利用法;ベンチマークの提案ができるようなデータのまとめ方を検討していくなど、成果の利用法も検討する。 (4) SA 解析との付き合せ;FP が移行した結果の現場データをみているので、事故シナリオでどのように移行したかの解析結果と付き合せて検討する。
備 考	—

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 6 回「福島第一原子力発電所廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他()
開催日時	2023 年 2 月 24 日(金) 13:30 ~ 15:30
開催場所	Web 会議(zoom)
参加人数	23 名: 勝村主査、他
議事	勝村主査挨拶後、以下の議事進行を行った。 1. 拡大幹事による課題検討結果 (1) 本委員会の目的と活動方針(和田幹事) ・本委員会の目的、進め方、拡大幹事会、活動実績を紹介した。 (2) 実機調査から得られた課題(高木幹事) ・廃炉プロジェクトの公開情報の中から「汚染水」、「燃料デブリ」、「廃棄物」の分野に着目し FP 情報を収集した。 ・各分野のトピックス、課題、期待される成果、抽出した 2 課題を紹介した。 ・マスバランス評価などのコメントがあった。 (3) JAEA/CLADS 関連研究調査から得られた課題(宮原幹事) ・1F 廃炉に係る基礎・基盤研究の全体マップを主対象として調査した。 ・調査結果を表にまとめ、見えてくる課題、抽出した 2 課題を紹介した。 ・代表性や事故シナリオの関連などのコメントがあった。 (4) 実機解析調査から得られた課題(三輪幹事) ・実機解析結果(BSAF)や熱水カロードマップなどを調査した。 ・各資料で示された重要な FP 挙動から 3 課題を抽出し、その対応策、期待される成果、成果物を紹介した。 ・化学反応挙動も検討すべきなどのコメントがあった。 (5) 事故分析調査から得られた課題(唐澤幹事) ・NRA の「1F における事故の分析に係る検討会」の会議資料を対象とした。 ・FP 放出又は漏えい経路・箇所に関する調査から 3 課題を抽出した。 ・移行も検討すべきなどのコメントがあった。 2. 全体討議 (1) 各拡大幹事会で抽出した 10 課題から 3 ワーキンググループの課題に整理した過程を図表で説明した(和田幹事)。 (2) どうまとめるかや成果の利用法などのコメントがあった。 3. 企画セッションについて ・本日のコメントを反映させた資料とすることとした。 4. その他 ・本委員会の延長が認可されたことを報告した。
備 考	本日のコメント対応を幹事会で検討することとした。

2023 年 2 月 21 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 14 回「福島第一原子力発電所廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会幹事会
会議種別	本会議 <u>幹事会</u> メール審議 その他()
開催日時	2023 年 2 月 15 日(水) 10:00 ~ 12:00
開催場所	Web 会議(zoom)
参加人数	6 名: 勝村主査、唐澤幹事、高木幹事、宮原幹事、三輪幹事、和田幹事
議 事	- 企画セッション内容について - 企画セッションで目的、課題を説明し、整理した課題を示してから議論に入り、最後に総括を勝村主査からいただく。課題だけでなく成果も示す。 - 本委員会の活動成果のまとめ方は次回研究専門委員会で議論する。 - 拡大幹事会での抽出課題からのつながりがわかるように課題選定の流れを説明する - 企画セッションスライド案の説明 (高木幹事説明) - マスバランスは代表性の問題ではないか。 - 廃棄物もソースから換算するので FP 挙動としてつながっている。また、SA 解析は放出評価であり、廃棄物は放出の検証となる。 (宮原幹事説明) - 内容は前回説明と同じで当日は調査表を重点的に説明する。 (唐澤幹事説明) - マスバランスの評価項目、シールドプラグの付着が多いこと、大気の 2% などを確認した。 - アンケート結果の説明 - 各アンケート回答内容に、対応するワーキンググループと委員会での対応を示す。委員会の範囲では対応できないことも回答する。 - 研究専門委員会 - 次回では企画セッションの内容を説明し、2 年間の成果を提示する。 - 最終的な成果は技術報告書とし、ロードマップに替えて課題解決の道筋提案に軌道修正する。 - その他 - 各拡大幹事会の課題と成果を 2/17 までに和田幹事に送る。 - 次回研究専門委員会の議事録作成は唐澤幹事とする - 委員会の延長申請は企画委員会を通過。
備 考	次回研究専門委員会: 2/24(金) 13:30~15:30 議題: 拡大幹事会での課題調査結果説明, WG で取り組む課題案の議論

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 13 回「福島第一原子力発電所廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会 幹事会(拡大幹事会)
会議種別	本会議 <u>幹事会</u> メール審議 その他()
開催日時	2023 年 1 月 25 日(水) 10:00 ~ 12:30
開催場所	エネルギー総合工学研究所 4 階会議室、Web 会議(zoom)
参加人数	9 名 勝村主査、唐澤幹事、高木幹事、和田幹事、宮原幹事、三輪幹事、他
議 事	1. 拡大幹事会からの調査結果の報告 ・ 拡大幹事会 1(担当:高木幹事):1F 廃炉に係る東京電力 HD 及び IRID の取組において、汚染水対策、燃料デブリ取出し準備、廃棄物処理・処分に 関する分析・開発を調査し、FP インベントリ評価を課題案として選定した。 ・ 拡大幹事会 2(担当:宮原幹事):1F 廃炉に係る CLADS の取組において、 放射性微粒子、燃料デブリ劣化等に関する研究開発を調査し、放射性微 粒子の生成機構、FP 化学性状の把握、1F 実機データの活用方法を課題 案として選定した。 ・ 拡大幹事会 3(担当:三輪幹事):国内外の委員会等の取組において、実 機解析の結果やロードマップ/PIRT を調査し、FP 化学の適用、長期間の FP 移行、SA 対策の影響評価を課題案として選定した。 ・ 拡大幹事会 4(担当:唐澤幹事):1F 事故進展評価に係る NRA の取組に おいて、1F 事故時の FP 挙動に関する分析・検討を調査し、ベントガスの 線量評価、ベントラインの汚染評価、リーク経路の確認を課題案として選 定した。 2. 課題の抽出 ・ 各拡大幹事会から提案された課題案をもとに、次期委員会で検討すべき 課題案を設定した。本課題案の是非を次回委員会にて議論する予定。 ① FP の物質収支・化学形態: - 廃炉(特に廃棄物処理・処分)、安全性向上の各々の観点 - 汚染水への移行、再移行、SA 対策影響評価を含む ② サンプルング目的・代表性(主に 1F 廃炉に関連): - 分析試料の代表性、サンプルング計画への反映の各々の観点 ③ 移行経路(主に安全性向上に関連) - シールドプラグ、ベネ等からのリーク(物質収支に関連) ・ 最終的な成果物について議論を行い、FP 挙動に関する技術マップやアク ションリスト(既に公開されている廃炉に関連するロードマップを参照)とす る案について引き続き検討することとした。
備 考	次回幹事会:2/15(水)10:00~12:00 議題: 委員会として取り組む課題案、企画セッション、次期委員会における担当

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 5 回「福島第一原子力発電所廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*()
開催日時	2022 年 12 月 13 日(火) 13:30～15:30
開催場所	Zoom による web 会議
参加人数	30 名 勝村主査、唐澤幹事、宮原幹事、三輪幹事、和田幹事、高木幹事、他
議事	1. 主査挨拶 (勝村主査) 2. 拡大幹事会による検討進捗状況 (1) 拡大幹事会の目的(三輪幹事) 三輪幹事より、拡大幹事会の目的について説明がなされた。1F 事故事象の把握と廃炉作業への貢献およびソースターム予測技術の向上を目的として、議論を深めながら課題抽出を行うため、若手を含めた拡大幹事会による調査を実施していることを共有した。また、なお、課題解決策の検討の段階では、ワーキンググループを構成して調査を進める方針であることを共有した。 (1) 拡大幹事会 1「東電・IRID 関連」(高木幹事) 高木幹事より、東電・IRID 関連の調査結果およびそこから見えてくる課題について説明がなされた。課題として、汚染水等における FP のマスバランスの把握等が挙げられた。 (2) 拡大幹事会 2「JAEA/CLADS 関連」(宮原幹事) 宮原幹事より、JAEA/CLADS 関連の調査結果およびそこから見えてくる課題について説明がなされた。課題として、サンプル分析技術の開発とデータ蓄積等が挙げられた。 (3) 拡大幹事会 3「ロードマップ・海外研究に係る調査・検討状況」(三輪幹事) 三輪幹事より、ロードマップ・海外研究に係る調査結果およびそこから見えてくる課題について説明がなされた。課題として、中長期的な FP 移行等が挙げられた。 (4) 拡大幹事会 4「ソースターム予測技術—進捗状況—」(唐澤幹事) 唐澤幹事より、ソースターム予測技術に関連して、規制庁で実施されている 1F 事故分析に係る調査結果について説明がなされた。 3. 企画セッションについて 幹事より、企画セッションの内容案が提示された。本委員会の活動方針の説明の後、各拡大幹事会の調査から抽出された課題を紹介する方針が提案され、大きなコメントなく了承された。 4. 委員会延長について 幹事より、委員会の延長を検討中であることが頭出しされた。委員から延長理由を明確にするようコメントあり、拝承。
備考	第 6 回専門委員会を 2023 年 2 月に開催予定。2023 年 3 月の企画セッションにて成果報告を行う。

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 12 回「福島第一原子力発電所廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会 幹事会
会議種別	本会議 <u>幹事会</u> メール審議 その他()
開催日時	2022 年 11 月 2 日(水) 10:00 ～ 12:00
開催場所	Web 会議(zoom)
参加人数	6 名 勝村主査、唐澤幹事、高木幹事、和田幹事、宮原幹事、三輪幹事
議 事	1. 拡大幹事会進捗状況 ・ 各拡大幹事会の進捗状況を共有した。 － 拡大幹事会 1(担当:高木幹事):東京電力 DH 及び IRID の公開情報について調査を進めている。 － 拡大幹事会 2(担当:宮原幹事):CLADS の取組において、放射性微粒子、燃料デブリ劣化、ウラン吸着剤に関する研究開発成果を調査した。引き続き調査を進める。 － 拡大幹事会 3(担当:三輪幹事):ロードマップ／PIRT の課題の抽出を進めるとともに、課題やその解決方法、反映先について検討した。 － 拡大幹事会 4(担当:唐澤幹事):NRA 検討会資料のうち、FP 挙動に関連する資料を対象として調査を進めている。 ・ 次回 12/13 の本委員会に向け調査結果を取り纏め、課題を抽出する(担当:各幹事)。 2. 委員会の今後の進め方 ・ 今後の進め方について議論を行った。 － 本研究専門委員会を 2 年間延長し、各課題(次々回の委員会にて議論)に対して WG を設置して、WG 毎のロードマップ作成に向けた検討を行う。なお、他の課題があるかを委員にも問い合わせる。 － 東電等のステークホルダーのレビューやフォローが必要で、どのように実施するか今後検討する。 － WG への参加は委員全員を割り当てる。委員以外でも WG に参加可能であるため、若手含めて広く声掛けを行う。 3. 企画セッション ・ 最初に委員会の目的、進め方、スケジュールを座長から説明する。 ・ 各幹事から調査結果と抽出した課題案を紹介する。 ・ 最後にまとめを話して、聴衆からの意見を伺う。
備 考	次回委員会:12/13(火)13:30～15:30 議題:・拡大幹事による検討進捗状況 ・企画セッション ・委員会延長

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 4 回「福島第一原子力発電所廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*()
開催日時	2022 年 7 月 28 日(木) 13:30～15:30
開催場所	Zoom による web 会議
参加人数	32 名 勝村主査、唐澤幹事、宮原幹事、三輪幹事、和田幹事、高木幹事、他
議事	1. 主査挨拶 (勝村主査) 2. 講演『「熱水カロードマップ」とその利用について』(中村(秀)委員) 我が国のロードマップ(RM)は 2005 年の経産省「技術戦略マップ」に端を発する。技術戦略マップ 2010 は導入シナリオ、技術マップ、技術ロードマップから構成されている。熱水力 RM は 2009 年に制定され、その後のローリングを経て、2015 年、2017 年、2020 年に改定が行われている。これらは熱流動部会の活動として行われ、2020 年版では「安全評価」、「基盤 R&D」の 2 つの技術マップを刷新した。改定活動は一旦休止し、運営小委員会にて方向性と内容を継続検討する。 3. 拡大幹事による検討進捗状況 (1)拡大幹事会 1「東電・IRID 関連」(高木幹事) 汚染水対策調査では α 核種の挙動に関するトピックスも抽出した。分析データが FP 挙動のシナリオにマッチするかが重要になる。燃料デブリ取り出し調査では取得データが断片的であり、全体像を把握するための手段が必要である。放射性廃棄物処理・処分調査では、JAEA のデータベース(FRAnDLi)を活用して行く。 (2)拡大幹事会 2「JAEA/CLADS 関連」(宮原幹事) JAEA/CLADS が作成している 1F 廃炉に係る基礎・基盤研究の全体マップを対象とする。このマップでは、FP の性状把握・分布状況把握について、ニーズ・課題・関連研究のリンクが整理されている。代表性や経時変化の考慮が必要である。 (3)拡大幹事会 3「ロードマップ・海外研究に係る調査・検討状況」(三輪幹事) 調査する各 RM、PIRT の対象や 1F 事故前後での変更点等を整理し、重要な FP 挙動やそれに影響を与える熱水力条件・事故シナリオとそれらの優先度を整理している。重要な課題に対する既往研究の進捗や成果を調査している。 (4)拡大幹事会 4「ソースターム予測技術—進捗状況—」(唐澤幹事) NRA 主催の「1F における事故の分析に係る検討会」、「1F 廃炉・事故調査に係る連絡・調整会議」、「SA 技術評価検討会」の公開資料を調査している。ベント配管・SGTS、シールドプラグ、線量率分布をキーワードとし、課題抽出を行う。 4. 全体討議 今後、RM における課題の抽出が必要十分であるかの検証が重要となる。
備考	第 5 回専門委員会を 12 月、第 6 回を 2023 年 2 月に開催予定。2023 年 3 月の企画セッションにて成果報告を行う。

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 11 回「福島第一原子力発電所廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会幹事会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他()
開催日時	2022 年 7 月 13 日(水) 10:00 ~ 11:20
開催場所	Web 会議(zoom)
参加人数	6 名 勝村主査, 唐澤幹事, 和田幹事, 三輪幹事, 宮原幹事, 高木幹事
議 事	7/28 の本委員会に向けて、下記を確認した。 1. 拡大幹事会進捗状況 ・各拡大幹事会の進捗状況を共有した。 － 拡大幹事会 1(担当:高木幹事):汚染水対策、燃料デブリ取り出しおよび廃棄物に係る実機データの公開情報を調査。調査対象によって情報量に濃淡があるため、7/26に再度打ち合わせを行い、7/28の本委員会に向けた調査結果のまとめ方などを協議する。 － 拡大幹事会 2(担当:宮原幹事):JAEA/CLADS の基礎基盤研究の全体マップから調査対象として抽出した文献 7 件のうち、3 件を調査し、一件一葉の整理を実施中。7/28 の本委員会に向けて、現状の調査結果および課題点の整理を行う。 － 拡大幹事会 3(担当:三輪幹事):ロードマップ／PIRT の調査として、BSAF プロジェクト、欧州 SARNET の PIRT 結果等の調査を実施し、一件一葉を作成。7/28 の本委員会に向けて調査結果をスライドに落とし込む。 － 拡大幹事会 4(担当:唐澤幹事):NRA 検討会資料のうち、FP 挙動に関連する資料を対象として調査を実施。7/28 の本委員会では、NRA のスクラビングに係る研究、FP リークパス(RPV 上蓋)の状況調査等に関して紹介する(資料は概ね作成済)。 ・7/28 の本委員会向けの資料は、26 日中に完成させ、三輪幹事に送付する(担当:各幹事)。 ・文献中の図表に関しては、技術報告書のように図書を発行する際にはコピー＆ペーストできない(許可を取得する必要がある)。7/28 の委員会では、図表の引用元および「取扱注意」である旨を明記することで対応する。 2. 第 4 回委員会議事進行について ・7/28 の委員会の議事進行の流れを確認した。 ・講演については、JAEA 中村委員より熱水カロードマップの内容を紹介頂き、1F 廃炉、安全性向上の課題等について講演頂く。 ・議論においては、熱水カロードマップと水化学ロードマップにおける FP 挙動関連課題を整理した結果を説明する。水化学ロードマップは、ソースターム評価と 1F 廃炉向けに 2 種類を作成していること、熱水カロードマップは主に

	SA 解析コードによる短期的挙動に着目しているが水化学ロードマップは長期挙動を含んでおり1:1で対応しないこと等を鑑み、資料構成を検討する(担当:三輪幹事) ・上記の議論は、現在実施中の拡大幹事会での調査に対するコメントをもらうため、講演に対する QA ではなく、拡大幹事会での調査状況を説明した後、全体議論の中で実施することとする(それに合わせて時間配分を変更)。 3. その他 ・7/28 の本委員会では、5 回目以降の予定(今のところ 12 月ごろ、2 月ごろの予定)を周知し、そのうち 1 度は対面で行うことについて委員よりコメントをもらうようにする(担当:唐澤幹事)
備 考	次回幹事会:10/26(水)10:00～12:00(仮決め) 議題:・第 5 回委員会の進め方の確認 ・各拡大幹事会の進捗状況の確認 ・講演者の調整状況(担当:唐澤幹事)

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 10 回「福島第一原子力発電所廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会 幹事会
会議種別	本会議 <u>幹事会</u> メール審議 その他()
開催日時	2022 年 6 月 1 日(水) 10:00 ～ 11:20
開催場所	Web 会議(zoom)
参加人数	6 名 勝村主査, 唐澤幹事, 和田幹事, 三輪幹事, 宮原幹事, 高木幹事
議 事	今年度委員会の進め方について議論し、下記を確認した。 1. 前回幹事会議事録の確認 ・春の学会で開催した企画セッションのまとめにつき、速報として学会誌に投稿する。11 月頃掲載予定。(担当:唐澤幹事) ・昨年度の委員会活動報告を作成して学会に提出した。(担当:高木幹事) ・委員の所属変更/退会調査と新規委員登録フォーム作成を行い、学会に報告した。(担当:三輪幹事) ・1F 廃炉検討委員会への次回報告は 7 月の予定。(担当:高木幹事) ・12 月に委員会の継続申請を行う。 2. 第 4 回委員会開催予定(担当:三輪幹事) ・講演は中村秀夫委員に熱水力関連 RM の紹介を依頼済み。 ・各拡大幹事会から調査進捗状況を報告する。 ・日時は 7/27(水)または 28(木)の 13:30～とし、オンライン開催とする。 3. 拡大幹事会の進捗状況 ・拡大幹事会 1(担当:高木幹事):東電 HD の HP から汚染水、燃料デブリ、廃棄物の 3 テーマについて調査中。エクセルでリスト化し、1 件 1 葉にまとめる。 ・拡大幹事会 2(担当:宮原幹事):JAEA/CLADS のデータベースから 7 件の文献を抽出。1 件につき 2～3 枚の 1 件 1 葉にまとめる。 ・拡大幹事会 3(担当:三輪幹事):RM、PIRT 等から 11 件の報告書、論文を抽出し、1 件 1 葉にまとめる。 ・拡大幹事会 4(担当:唐澤幹事):NRA の 3 件の検討会資料を抽出。各検討会資料から計 52 件を抽出済みであり、1 件 1 葉にまとめて行く。 ・調査結果は A4/1 枚にまとめ、技術報告書に反映できるようにする。 ・各拡大幹事会では調査方法・目的・内容を徹底し、①第 4 回委員会までに 1 件以上の調査結果をまとめ、②12 月までに課題を抽出し、③来年第 6 回委員会までに幹事間で委員会としての課題案を選出する。(担当:全幹事)
備 考	次回幹事会:7/13(水)10:00～11:00 議題:・第 4 回委員会の進め方の確認 ・各拡大幹事会の進捗状況の確認

2022 年 6 月 2 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 9 回「福島第一原子力発電所廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会 幹事会
会議種別	本会議 <u>幹事会</u> メール審議 その他()
開催日時	2022 年 4 月 13 日(水) 10:00 ~ 12:00
開催場所	Web 会議(zoom)
参加人数	6 名 勝村主査, 高木幹事, 和田幹事, 三輪幹事, 宮原幹事、唐澤幹事
議事	今年度委員会の進め方について議論し、下記を確認した。 1. 今年度予定及び役割分担 ・今年度委員会の予定を下記とした。 - 第 4 回 7 月; 拡大幹事会の進捗状況 - 第 5 回 10or11 月; 拡大幹事会の進捗状況 - 第 6 回 2or3 月; 拡大幹事会で抽出した課題から委員会課題を選定 ・委員会及び幹事会の進行と議事録作成は幹事の持ち回りで行う。 ・12 月までに各拡大幹事会で課題を抽出し、第 6 回委員会までに幹事間で委員会としての課題案を選出する。 ・第4回委員会は三輪幹事が担当し、講演者の選定/依頼を行う。 ・春の学会で開催した企画セッションのまとめを解説記事にまとめる(担当; 唐澤幹事)。 ・今年度の委員会年度活動報告作成する(担当; 高木幹事)。 ・委員の所属変更/退会調査と新規委員登録フォーム作成を4月中に行い、学会に報告する(担当; 三輪幹事)。 ・廃炉委員会への報告は、廃炉委員会委員の高木幹事が行う。 ・12 月に委員会の継続申請を行う。 2. 拡大幹事会の進捗状況 ・幹事交代により拡大幹事会 2 の担当幹事を宮原幹事とする。 ・各拡大幹事会では、調査方法・内容を拡大幹事委員間で確認・周知・徹底し、第 4 回委員会までに 1 件以上の調査結果をまとめる。 ・調査結果は A4/1 枚にまとめ、技術報告書に反映できるようにする。
備考	次回幹事会; 6/1(水)、10-11 議題; 拡大幹事会の進捗状況の確認